

指導と評価の計画（全6時間）

過程	ねらい 主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
導入	書くテーマに沿って、言いたいことや伝えたいことを決め、その裏付け(根拠)となる具体例を考へることができるようにする。 「みんなで仕上げる取材メモ」を使い、言いたいことや伝えたいことと選んだ具体例をプリントに書き入れる。	1	テーマに沿って、言いたいことや伝えたいことを考えられるように、「みんなで仕上げる取材メモ」を用意する。 児童が書きやすいように、教師の実例を入れて取材メモの書き方を、説明する。 児童にこんなことを書けばいいのかという目安を示すために、「みprinted・手がかりプリント集」を用意する。	「みんなで仕上げる取材メモ」について書き方を理解し、取り組んでいる。「みんなで仕上げる取材メモ」、観察) 「みんなで仕上げる取材メモ」に積極的に取り組もうとしている。 取組に消極的な児童には、個別に説明しながら具体例を思い起こさせる。	「みんなで仕上げる取材メモ」に、言いたいことや伝えたいことを書いていく。「みんなで仕上げる取材メモ」) 言いたいことや伝えたいことを書き、裏付けとなる具体例について考えている。 個別に話しかけながら、書ける内容を引き出し、意図的にほめるようにする。	分かりやすい表現を使って、言いたいことや伝えたいことを書いていく。「みんなで仕上げる取材メモ」) 言いたいことや伝えたいことを分かりやすい表現で書けたか、確かめている。 分かりにくい表現について指摘しながら、どう書けばいいか助言し、気付かせる。
見通し1	「みんなで仕上げる取材メモ」を基に、観点に沿って相互に見合う活動を行い、それを基に「なか」(具体例と言いたいこと・伝えたいことをつなげて書く)を書くために、構想を立てられるようにする。 班になって、「みんなで仕上げる取材メモ」を見合い、具体例は「言いたいこと・伝えたいこと」の裏付けとして適切かどうか、また、最も適切なものはどれかなどを意見交換し、それを基に「なか」を書くための構想を「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を使って立てる。	1	児童がどんな見合う活動を行えばいいのか理解しやすく、観点について、教師の実例を入れて説明する。 見合う活動が、効率よく進むように、以下のことを行う。 ・班の机の配置を工夫する。 ・司会進行役を決める。 ・よく書けている点をほめたり、もっと分かりやすく書ける点をアドバイスしたりすることを見合う活動の基本とするよう意識付けする。 児童が書きやすいように、「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を用意する。	「みんなで仕上げる取材メモ」について観点に沿って、見合う活動を行っている。「みんなで仕上げる取材メモ」、見合う活動の観察) 積極的に見合う活動を行い、自分の文章を読み直しながら「なか」の構想を立てようとしている。 見合う活動に消極的な児童には、観点について具体的に助言する。	「みんなで仕上げる取材メモ」について、見合ったことを基に、「なか」の構想を立てている。「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」、観察) 時間軸に沿って事実を書き、言いたいこと・伝えたいことにつなげている。 具体例には、事実のみを書くことを伝え、質問しながら事実を思い出すよう助言する。	文末表現や漢字などに気を付けて「なか」の構想を立てている。「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」、観察) 文末表現や漢字などに気を付けて、構想を立てている。 児童の立てた構想を見ながら、漢字や文末表現について、具体的に説明する。
見通し2への準備	「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を基に、「なか」を書けるようにする。 「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を基に、「なか」を書く	1	児童が書きやすいように、教師が実例を見せながら説明する。 児童の文章が読みやすくなるように、構想を基に、接続語や文末の表現の仕方を説明する。 児童が書きやすいように、「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」を用意する。 児童にこんなことを書けばいいのかという目安を示すために、「みprinted・手がかりプリント集」を活用するようにする。	「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を基に「なか」を書こうとしている。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) 自分の文章を読み直し、接続語に気を付けながら「なか」を仕上げようとしている。 思うように進まない児童には、教師が質問することで、書き方が分かるようにする。	「みんなで仕上げる作文プリントのふろく」を基に、構成に気を付けながら「なか」を書いている。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) 具体例を基にして、言いたいことや伝えたいことに説得力をもたせながら書いている。 具体例には、事実のみを書くことを伝え、質問しながら事実を思い出すよう助言する。	文末表現や漢字などに気を付けて「なか」を書いている。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) 文末表現や漢字などに気を付けて、書いている。 習った漢字や主述の関係の誤ったところを指摘しながら、具体的に説明する。
見通し2	「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」を基に、観点に沿って相互に見合う活動を行い、読み手に分かりやすい文章に修正できるようにする。 班になって、「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」を見合い、具体例から言いたいことや伝えたいことを書くのどうかなどを意見交換し、それを基に「なか」を修正し合う。	1	児童が活発に見合う活動ができるように、発表者を困んで自由に意見が言い合えるようにする。 児童が見合う活動を活発に行い、それを基に修正しやすいように、教師が実例を見せながら説明する。 児童が修正する場所を見付けやすいように、事前に児童の文章をよく読んでおき、分かりやすく観点を提示する。 児童が忘れ物をした際に意欲をなくさないように、赤ペンや辞書を事前に用意しておく。	「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」を基に、観点に沿って見合う活動をしている。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) ほかの児童の文章を見ながら、声に出して指摘している。 見合う活動に消極的な児童には、指摘の仕方を個別に助言する。	「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」を基に、読みやすくなるように修正している。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) 指摘されたことを基にして、自分の考えを持ちながら修正している。 指摘されたことをうまく理解できない児童には、理解するための手助けを個別に行うようにする。	習った漢字や主述の関係に気を付けて修正している。「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」、観察) 分かりやすい文章になることを意識して修正している。 習った漢字や主述の関係の誤ったところを指摘しながら、具体的に助言する。

は、おおむね満足できる状況・態度

は、十分満足できる状況・態度

は、努力を要する状況への方策

過程	ねらい 主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・ 態度	書く能力	言語についての知識・ 理解・技能
見 通 し 3	修正した「なか」に合わせ て「はじめ」「おわり」 「題名」を文章に書き、 それを基に観点に沿っ て相互に見合う活動を行 い、文章全体を修正でき るようにする。 修正した「なか」に合わ せて、「はじめ」「おわ り」「題名」を文章に書 く。 班になって、「みんなで 仕上げる作文プリント」 全体を見合い、文章全体 の流れは適切かどうか などを意見交換し、それ を基に修正し、清書する 準備をする。	1	「はじめ」に書くこと が何か戸惑わないよう に、「はじめ」には「な か」のいきさつやあら ましについて書くよう 説明する。 「おわり」に書くこと が何か戸惑わないよう に、「おわり」には「な か」を受けて、テーマ についての自分の考え を書くよう説明する。 「題名」は何にすれば いいか戸惑わないよう に、「なか」について 書かれていることを参 考にするよう説明する。 第4時と同じように見 合う活動ができるよう 説明する。	「みんなで仕上げる 作文プリント」全体 について観点に沿 って見合う活動を行 っている。（「みん なで仕上げる作文プ リント」全体、見合 う活動の観察） ほかの児童の文章を 見ながら、声を出し て指摘している。 見合う活動に消極的 な児童には、指摘の 仕方を個別に助言す る。	「みんなで仕上げ る作文プリント」 全体を基に、読み やすくなるように 修正している。（「み んなで仕上げる作 文プリント」全体、 観察） 指摘されたことを 基にして、自分の 考えをもちながら 修正している。 指摘されたことを うまく理解できな い児童には、理解 するための手助け を個別に行うよう にする。	習った漢字や主述 の関係に気を付け て修正している。 （「みんなで仕上 げる作文プリン ト」全体、観察） 分かりやすい文章 になることを意識 して修正してい る。 習った漢字や主述 の関係の誤ったと ころを指摘しなが ら、具体的に助言 する。
ま と め	「みんなで仕上げる作文 プリント」全体を基に、 原稿用紙に清書できる ようにする。 「みんなで仕上げる作文 プリント」を基に、文章 全体を原稿用紙に清書す る。 ここまでの活動を振り返 り、自己評価を次回の書 く活動に生かせるよう に「作文振り返りプリン ト」に、書き入れる。	1	原稿用紙の使い方を間 違えないように、図表 を使って説明する。 児童がここまでの活動 を、段階に沿って振り 返れるよう、「作文振 り返りプリント」を用 意する。 児童が書きやすいよう に、選択肢と記述を交 ぜた項目を作り、次回 の書く活動につなげ られるようにする。	「みんなで仕上げる 作文プリント」を基 に、清書している。 （清書、観察） 作文プリントを基に 集中して清書を仕上 げようとしている。 清書が仕上がるよう 個別に声をかける。	原稿用紙の使い 方に気を付けなが ら清書している。（清 書、観察） 清書を仕上げ、文 章を見直している。 原稿用紙の使い 方が誤っている児童 には、図表を示し ながら、個別に助 言する。	字配りや字を丁寧 に書くことなどに 気を付けて書こう という意識をもっ て、清書している。 （清書、観察） 一字一字に気を付 けて丁寧に清書し ている。 字の上手さよりも 丁寧に意識をも たせて清書を仕上 げるよう助言す る。

は、おおむね満足できる状況・態度

は、十分満足できる状況・態度

は、努力を要する状況への方策

【本時案】

第1時

- (1) ねらい
書くテーマに沿って、言いたいこと・伝えたいことを決め、その裏付け(根拠)となる具体例を考えることができるようにする。
- (2) 準備
(教師)「みんなで仕上げる取材メモ」・「手がかりプリント集」・「みんなで仕上げる取材メモ・拡大図」(掲示用)
(児童)筆記用具
- (3) 展開(6時間中の1時間目)

	学習指導()及び留意点(*) 十分満足できる状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	「環境問題をテーマに意見文を書こう」をテーマに作文を書こう。 今後の見通しを立てられるように、授業で使うワークシートを見せながら、具体的に説明する。また、本時が作文を書く上での取材にあたる過程であることを説明し、その大切さを話す。	学習の流れと本時のめあてを知る。	
展 開 (35分)	環境問題について読み手に伝えたいこと(どんな意見を言いたい)を書こう。 自分の言いたいこと・伝えたいことが書きやすくなるように、自分で環境問題について考えてから書くようにする。 * 「手がかりプリント集」を参考にしながら考えるようにする。 * 言いたいこと・伝えたいことが、具体例を挙げているうちに変わってしまうことも考えられるので、それでもいいことを伝え、書くようにする。 * 活動を続けていく間に、言いたいこと・伝えたいことが、少しずつ深まっていくこともあることを伝え、まずは「みんなで仕上げる取材メモ」に書くことを優先させるよう話す。 自分の言いたいこと・伝えたいことの裏付け(根拠)となる具体例を書き、どれが最も適した具体例か考え、選ぼう。	環境問題について、自分が何を言いたい・伝えたいか考え、「みんなで仕上げる取材メモ」に書く。 「みんなで仕上げる取材メモ」を使って発想を広げ、思いつく具体例を3つ以上考え書く。 書いた具体例の中から、自分の言いたいこと・伝えたいことの裏付けとなる具体例を選ぶ。	【関・意・態】 「みんなで仕上げる取材メモ」について書き方を理解し、取り組んでいる。「みんなで仕上げる取材メモ」の分析・活動の様子の観察) 【書く能力】 「みんなで仕上げる取材メモ」に言いたいこと・伝えたいこと・具体例を書いている。「(みんなで仕上げる取材メモ)の分析」 【言語事項】 分かりやすい表現を使って、言いたいこと・伝えたいことを書いている。「(みんなで仕上げる取材メモ)の分析」
日常化 一般化 (5分)	児童が本時について振り返りやすいように、本時の活動が発想を広げることめあてにして行ったことを改めて説明する。 * 発想の広げ方について、簡単に説明する。 * 今回のテーマ以外の作文についても応用できることを話す。 次時の活動について分かりやすいように、ワークシートを示しながら説明する。 * 班による活動、自分自身で進めていく活動について、分かりやすいように分けて説明する。 次時の活動に本時の活動が生かせるように児童の「みんなで仕上げる取材メモ」を回収し、検証する。	本時のまとめを聞き、本時を振り返る。 次時の活動について知る。	



第2時（見通し1にかかわる授業）

(1) ねらい

「みんなで仕上げる取材メモ」を基に、観点に沿って相互に見合う活動を行い、それを基に「なか」（具体例と言いたいこと・伝えたいことをつなげて書く）を書くために、構想を立てられるようにする。

(2) 準備

（教師）「みんなで仕上げる取材メモ」・「みんなで仕上げる取材メモ・拡大図」（掲示用）・「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」・「手がかりプリント集」・赤ボールペン（6本）


（児童）筆記用具

(3) 展開（6時間中の2時間目）

	学習指導（ ）及び留意点（*） 十分満足できる状況・態度の児童への支援（ ）	学習活動	具体的評価規準 （評価方法）
確認・ 意欲付 け (5分)	めあてをもって本時の学習ができるよう、班で見合う活動を行うことと「なか」を書くための構想を考えるワークシートを見せながら、具体的に説明する。 * 前時の活動を評価し、本時の活動に生かすように話す。	本時のめあてを知る。	
展 開 (35分)	<p>言いたいこと・伝えたいことを表すのに具体例がぴったりあてはまるかどうか班で考えよう。</p> <p>児童が見合う活動をどのように行えばいいのか理解しやすくするために、「班で見合う確かめリスト」の観点（第一段階）について、教師の実例を入れて説明する。 * 教師の実例は、なるべく児童が想像しやすくように児童の実感のあるものを数多く挙げるようにする。見合う活動が効率よく進むように、以下のことを行う。 班の机の配置を工夫する 司会進行役を決める。（順番で行う） よく書けている点をほめたり、もっと分かりやすく書ける点をアドバイスすることを、見合う活動の基本とするよう意識付けする。 班の活動がうまくいかなかったり、意見が分かれたときは、拳手をすること。（教師が支援する） * 見合う活動を通して、換える必要があると感じた具体例や表現については、赤ボールペンで直すよう伝える。</p>	<p>書き手が書いた言いたいこと・伝えたいことと、具体例について、「班で見合う確かめリスト」を基に「みんなで仕上げる取材メモ」を取班で見合う。</p> <div data-bbox="957 649 1197 851" data-label="Diagram"> </div> <p>班で見合う活動を通して、自分の文章の「なか」に書く内容を決定する。</p>	<p>【関・意・態】 「みんなで仕上げる取材メモ」について観点に沿って見合う活動を行っている。（「みんなで仕上げる取材メモ」の分析・見合う活動の観察・各自の様子の観察）</p> <p>【書く能力】 「みんなで仕上げる取材メモ」について見合ったことを基に、「なか」の構想を立てている。（「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」の分析・各自の様子の観察）</p>
	<p>班で話し合ったことを参考にして、自分の言いたいこと・伝えたいことと具体例を文章に書くために、構想を立てよう。</p> <p>児童が言いたいこと・伝えたいことと具体例を効率的に書き進められるように「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」を用意し、構想を立させる。 * 具体例として書きたいことを時間軸に沿って、感想をなるべく書かずに事実でつないでいくよう助言する。 * 次時には、今日立てた構想を基にして、「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」に、文章を書くことを伝える。 * 「手がかりプリント集」を参考にしながら書くようにする。「手がかりプリント集」には、具体例の書き方・注意点を書いたものと教師が児童の立場に立って書いたものの二つを載せておく。 * 字数にこだわらずに書き進めていくことを話す。 * 書き進めることに戸惑っている児童には、個別に声かけを行う。（児童の書こうとしていることを意図的にほめながら、自信をもって活動に取り組めるように児童に質問しながら、それについて書き進めていくなどの書き方を具体的に指導する。） * 書き進めることが困難な児童や書くのに自信のない児童には、この先に相互に見合う活動で班の人に助言してもらいながら進めていくことを説明し、安心して活動に取り組めるようにする。 構想を立て終わった児童には、「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」に文章を書き始めるよう助言する。 「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」をどう書けばいいか、構想を立てている児童が気にならないように個別に説明する。</p>	<p>言いたいこと・伝えたいことと具体例を「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」に書き、文章の構想を立てる。</p> <div data-bbox="829 1209 1181 1456" data-label="Image"> </div>	<p>【言語事項】 文末表現や漢字などに気を付けて「なか」の構想を立てている。（「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」の分析・各自の様子の観察）</p>
日常化 一般化 (5分)	<p>児童が本時について振り返りやすいように、本時の活動が文章を書きやすくするためにに行った時間であることを説明する。 * 字数を気にしないで書くために、マス目を入れなかったことを説明する。 * 今回のテーマ以外の作文についても応用できることを話す。 次時の活動について分かりやすいように、ワークシートを示しながら説明する。 * 班による活動が、うまくできた班を取り上げ、分かりやすいようにその要因を話す。 次時の活動に本時の活動が生かせるように児童の「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」を回収し、検証する。</p>	<p>本時のまとめを聞き、本時を振り返る。</p> <p>次時の活動について知る。</p>	



第3時

- (1) ねらい
「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」を基に、「なか」(具体例と言いたいこと・伝えたいことをつなげて書く)を書けるようにする。
- (2) 準備
(教師)「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」・「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」・「手がかりプリント集」・赤ボールペン(24本)
(児童)筆記用具
- (3) 展開(6時間中の3時間目)

	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足できる状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	めあてをもって本時の学習ができるよう、「なか」 を書くことをワークシートを見せながら、具体的に 説明する。 ＊前時の活動を評価し、本時の活動に生かすように話 す。	本時のめあてを知る。	
展 開 (35分)	<p>「みんなで仕上げる作文プリントのふるく」を基にして自分の言いたいこと・伝えたいことと 具体例を、「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」に実際に書いてみよう。</p> <p>児童が言いたいこと・伝えたいことと具体例を書き やすいように「みんなで仕上げる作文プリント(な か版)」を用意する。 ＊次時には、「班で見合う確かめリスト」の観点 (第 二段階)について見合うことを伝え、それを意識し て文章にするよう伝える。 ＊「手がかりプリント集」を参考にしながら書くよう にする。「手がかりプリント集」には、具体例の書 き方・注意点と接続語の使い方を説明したものと教 師が児童の立場に立って書いたものの二つを載せて おき、それを示しながら書き方を説明する。 ＊字数にこだわらずに書き進めていくことを話す。 ＊書き進めることに戸惑っている児童には、個別に声 かけを行う。(児童の書こうとしていることを意図 的にほめながら、自信をもって活動に取り組めるよ うに児童に質問しながら、それについて書き進めて いくなどの書き方を具体的に指導する。) ＊書き進めることが困難な児童や書くのに自信のも てない児童には、次時の相互に見合う活動で班の人 に助言してもらいながら進めていくことを説明し、安 心して活動に取り組めるようにする。</p> <p>自分が書いた文章を、「班で見合う確かめリスト」 の観点 (第二段階)に沿って、確かめてみるよ うに助言する。 確かめることの終わった児童には、書き換えが必要 だと感じた表現については、赤ボールペンで直すよ う伝える。 次時には、班で見合う活動を、次々時には、「はじ め」「おわり」「題名」を書くことを伝え、それにつ いての構想を考えておくように助言する。</p>	<p>言いたいこと・伝えたいことと具体例 を「みんなで仕上げる作文プリント(な か版)」に書く。</p> 	<p>【関・意・態】 「みんなで仕上げ る作文プリントの ふるく」を基に、 「なか」を書こう としている。「み んなで仕上げる作 文プリント(なか 版)」の分析・話 合いの観察・各自 の様子の観察)</p> <p>【書く能力】 「みんなで仕上げ る作文プリントの ふるく」を基に、 構成に気を付けな がら「なか」を書 いている。「み んなで仕上げる作 文プリント(なか 版)」の分析・各 自の様子の観察)</p> <p>【言語事項】 文末表現や漢字な どに気を付けて 「なか」を書いて いる。「み んなで仕上げる作 文プリント(なか 版)」の分析・各 自の様子の観察)</p>
日常化 一般化 (5分)	<p>児童が本時について振り返りやすいように、本時の 活動について以下のことを説明する。 ・文章を書く上で、構成を考えながら書くことが大切 であること。 ・言いたいこと・伝えたいことを読み手に伝えるた めに、「なか」が大切であること。 ・「なか」を最初に取り上げて書くことによって、書 きやすくなること ＊字数を気にしないで書くために、マス目を入れな かったことを説明する。 ＊今回のテーマ以外の作文についても応用できるこ とを話す。 次時の活動について分かりやすいように、ワーク シートを示しながら説明する。 ＊全員が一生懸命取り組んだことを意図的に評価する。 次時の活動に本時の活動が生かせるように児童の「み んなで仕上げる作文プリント」を回収し、検証する。</p>	<p>本時のまとめを聞き、本時を振り返る。</p> <p>次時の活動について知る。</p>	


第4時（見通し2にかかわる授業）

- (1) ねらい
「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」を基に、観点 に沿って相互に見合う活動を行い、読み手に分かりやすい文章に修正できるようにする。
- (2) 準備
(教師)「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」・「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）・拡大図」（掲示用）
「手がかりプリント集」・赤ボールペン（6本）
(児童)筆記用具・国語辞典
- (3) 展開（6時間中の4時間目）

	学習指導（ ）及び留意点（*）	学 習 活 動	具体的評価規準（評価方法）
確認・意欲付け（5分）	十分満足できる状況・態度の児童への支援（ ） めあてをもって本時の学習ができるよう、班で見合う活動を行うことを、ワークシートを見せながら具体的に説明する。 * 前時の活動を評価し、本時の活動に生かすように話す。	本時のめあてを知る。	
展 開（35分）	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言いたいこと・伝えたいことと具体例が分かりやすく書かれているか班で考えよう。</p> <p>児童が見合う活動をどのように行えばいいのか理解しやすいように、「班で見合う確かめリスト」の観点（第二段階）について、教師の例を入れて説明する。 * 「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）・拡大図」（掲示用）を用意し、説明する。 * 教師の例は、児童が間違えやすい接続語の使い方などを数多く挙げるようにする。 見合う活動が効率よく進むように、以下のことを行う。 今回の見合う活動は、誰でも気軽にほめたりアドバイスしたりできるように、発表者を囲んで行うようにする。 机は発表者だけが使い、ほかの三名は椅子だけを使う。 司会進行役を置かず、発表は順番で行う。 よく書けている点をほめたり、もっと分かりやすく書ける点をアドバイスすることを、見合う活動の基本とするよう意識付けする。 班の活動がうまくいかなかったり、意見が分かれたときは、挙手をすること。（教師が支援する） * 見合う活動は、「班で見合う確かめリスト」の観点（第二段階）について行うが、実際に児童の文章を見て、実態にあった観点を取捨選択したり、つけ加えたりする。（例えば・・・） 一文ずつ見合おう ・誤字、脱字（ひらがな・漢字） ・習った漢字を使っているか ・「です・ます」と「だ」はそろっているか ・同じ言葉の繰り返し ・意味がよく分からない文、言葉 ・一文が長すぎないか（「。」をつけて分ける） 具体例2の始まり方を見合おう ・始まり方が「あれ？」と思ったら次の言葉をつけて、前の文とつなごう 「またこんなこともあった。（ありました）」 「次に」「それから」「また」「さらに」 「言いたいこと・伝えたいこと」に具体例は無理なくつながっているか ・最初に次の文を付けてみよう 「二つのことから～と思った。（思いました）」 「二つのことから思ったことは～。」 ・「～しよう」で終わっている文は、 「～することが大切だと思う。（思います）」 「～する必要があるのではないかと（ないでしょうか）」 のように、意見を言うように書いてみよう。 ・二つの具体例の共通点が、「言いたいこと・伝えたいこと」に書かれているか 例1 ...ごみを片つけた 例2 ...自動車の排気ガスが原因だ × ...ごみを分別することが大切だ ...ごみを分別したり、なるべく自動車で乗らないようにしたりという心がけが大切だ。 * 見合う活動を通して、修正が必要だと感じた表現については、赤ボールペンで直すよう伝える。</p>	<p>書き手が書いた言いたいこと・伝えたいことと具体例について、「班で見合う確かめリスト」を基に「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」を班で見合う。</p> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px;">発表者</div> <p>班で見合う活動を通して、自分の文章の「なか」に書く内容を修正したり、書き足したりする。</p>  	<p>【関・意・態】 「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」を基に、観点 に沿って見合う活動をしている。（「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」の分析・見合う活動の観察・各自の様子の観察）</p> <p>【書く能力】 「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」を基に、読みやすくなるように修正している。（「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」の分析・各自の様子の観察）</p> <p>【言語事項】 習った漢字や主述の関係に気を付けて、修正している。（「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」の分析・各自の様子の観察）</p>
日常化一般化（5分）	児童が本時について振り返りやすいように、今日書いた児童の文章を見せながら評価する。 次時の活動について分かりやすいように、プリントを示しながら説明する。 * 班による活動がうまくできた班を取り上げ、分かりやすいようにその要因を話す。 次時の活動に本時の活動が生かせるように「みんなで仕上げる作文プリント（なか版）」を回収し、検証する。	本時を振り返る。 次時の活動について知る。	


第5時（見通し3にかかわる授業）

- (1) ねらい
修正した「なか」に合わせて「はじめ」「おわり」「題名」を文章に書き、それを基に観点に沿って相互に見合う活動を行い、文章全体を修正できるようにする。
- (2) 準備
(教師)「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」「はじめ・おわり・題名版)」「手がかりプリント集」・「作文振り返りプリント」赤ボールペン(24本)
(児童)筆記用具・国語辞典
- (3) 展開(6時間中の5時間目)

	学習指導()及び留意点(＊) 十分満足できる状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	めあてをもって本時の学習ができるよう、「なか」を生かすため「はじめ」「おわり」「題名」を書くことや班で見合う活動を行うことを、ワークシートを見せながら具体的に説明する。 ＊前時の活動を評価し、本時の活動に生かすように話す。	本時のめあてを知る。	
展 開 (35分)	<p>「なか」の内容を基にして、「はじめ」「おわり」「題名」を、文章に書いてみよう。</p> <p>児童が「はじめ」「おわり」「題名」を、書きやすいように「みんなで仕上げる作文プリント(はじめ・おわり・題名版)」を使う。 「はじめ」について書きやすいように、「はじめ」には、自分の言いたいこと・伝えたいこと・具体例・テーマについて、おおまかな紹介やあらすじを書き、感想や考えをできるだけ書かないように助言する。(感想や考えは、言いたいこと・伝えたいことに書くようにする。) 「おわり」について書きやすいように、「おわり」には、テーマに沿って自分の読み手への呼びかけや主張を書くように伝える。 ＊書くことがなかなか進まない児童は挙手することを伝え、「手がかり集」を使って支援する。 ＊字数にこだわらずに書き進めていくことを話す。 「題名」について書きやすいように、それまでに自分が書いた文章をもう一度読み、内容に関連する題名をつけるよう話す。 自分が書いた文章を、「班で見合う確かめリスト」の観点(第三段階)に沿って、確かめてみるように助言する。 確かめ終わった児童には、実際に赤ボールペンを使って修正するよう助言する。</p> <p>文章全体が読みやすく書かれているか、班で考えよう。</p> <p>児童が見合う活動をどのように行えばいいのか理解しやすく、班で見合う確かめリストの観点(第三段階)について、「手がかり集」を使い、教師の例を入れて説明する。 ＊教師の例は、児童が間違えやすい誤字・主述のねじれ・句読点の使い方・接続語の使い方などを挙げるようにする。 見合う活動が効率よく進むように、以下のことを行う。 今回の見合う活動も、誰でも気軽にほめたりアドバイスしたりできるよう、発表者を囲んで行うようにする。 机は発表者だけが使い、ほかの三名は椅子だけを使う。 司会進行役を置かず、発表は順番で行う。 よく書けている点をほめたり、もっと分かりやすく書ける点をアドバイスすることを、見合う活動の基本とするよう意識付ける。 班の活動がうまくいかなかったり、意見が分かれたときは、挙手すること。(教師が支援する) ＊見合う活動を通して、書き換えが必要だと感じた表現については、赤ボールペンで直すよう伝える。</p>	<p>「なか」に合わせて、「はじめ」「おわり」「題名」を「みんなで仕上げる作文プリント(はじめ・おわり・題名版)」に書く。</p> 	<p>【関・意・態】 「みんなで仕上げる作文プリント」全体について観点に沿って見合う活動を行っている。「みんなで仕上げる作文プリント」全体の分析・見合う活動の観察・各自の様子を観察)</p> <p>【書く能力】 「みんなで仕上げる作文プリント」全体を基に、読みやすくなるように修正している。 (「みんなで仕上げる作文プリント」全体の分析・各自の様子を観察)</p> <p>【言語事項】 習った漢字や主述の関係に気を付けて、修正している。 (「みんなで仕上げる作文プリント」全体の分析・各自の様子を観察)</p>
日常化 一般化 (5分)	<p>児童が本時について振り返りやすいように、今日書いたプリントを見せながら評価する。 ＊なるべくたくさんの児童のプリントを見せる。 ＊児童に感想を求める。「やりやすかった」と答える児童と「やりにくかった」と答える児童がいると思われるので、その理由を答えるようにし、今後の指導に生かすようにする。 ＊原稿用紙の使い方について、簡単に触れる。 次時の活動に本時の活動が生かせるように児童の「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)」「はじめ・おわり・題名版)」を回収し、検証する。 次時の活動について分かりやすいように、「作文振り返りプリント」を示しながら説明する。 ＊項目を読み上げ、本時までの活動をもう一度振り返っておくように話す。</p>	<p>本時を振り返る。</p> <p>次時の活動について知る。</p>	

第6時

- (1) ねらい
「みんなで仕上げる作文プリント」全体を基に、原稿用紙に清書できるようにする。
- (2) 準備
(教師)「みんなで仕上げる作文プリント(なか版)(はじめ・おわり・題名版)」・「手がかりプリント集」・原稿用紙
「作文振り返りプリント」・「手がかりプリント集」
(児童)筆記用具
- (3) 展開(6時間中の6時間目)

	学習指導()及び留意点(*) 十分満足できる状況・態度の児童への支援()	学 習 活 動	具体的評価規準 (評価方法)
確認・ 意欲付 け (5分)	めあてをもって本時の学習ができるよう、「みんなで仕上げる作文プリント」全体・「手がかりプリント集」を使ってこれまでの活動を振り返り、原稿用紙・「作文振り返りプリント」を示しながら今日の学習について説明する。 * 前時の活動を評価し、本時の活動に生かすように話す。	本時のめあてを知る。	
展 開 (35分)	「みんなで仕上げる作文プリント」を基にして、原稿用紙に清書しよう。 児童が原稿用紙に間違いなく清書できるように、「原稿用紙の使い方」を使って説明する。 * 字数にこだわらずに書き進めていくことを話す。 * この段階になって、内容を修正したり、もう少し書き足したいことが見つかった児童には、挙手することを伝え、個別に相談しながら、書くように支援する。 (書く内容や修正したいことを教師が聞き、有効だと判断すれば、時間にかかわらず思ったように書かせる。あまり有効でないと判断できれば、その理由を話し、児童に判断させる。) * 清書には時間がかかることが予想されるが、時間を気にせず丁寧に書き進めていくことを話す。 早く書き終えた児童には、「作文振り返りプリント」に取りかかるよう伝える。	清書を原稿用紙に書く。 	【関・意・態】 「みんなで仕上げる作文プリント」全体を基に、清書している。(清書の分析・各自の様子の観察) 【書く能力】 原稿用紙の使い方から清書している。(清書の分析・各自の様子の観察)
	「作文振り返りプリント」を使って、これまでの活動を振り返ろう。 児童がどのように活動を振り返り、記入すればいいのかが理解しやすいように、「作文振り返りプリント」の項目について、具体的に説明する。 * 児童が書きやすいように、選択肢と記述を交えた項目を作る。 * 本時までの活動のめあてを振り返りやすいように、ワークシートと活動を思い出しながら記入できるようにする。 * 「作文振り返りプリント」への記入が思うように進まない児童には、教師が手がかりになることを質問しながら書き進めていくようにする。 早く書き終えた児童には、裏面に今回の活動について自由に書くよう話す。 次の作文の活動に本時の活動が生かせるように児童の清書と「作文振り返りプリント」を回収し、検証する。	本時までの活動を振り返り、「作文振り返りプリント」に書く。	【言語事項】 字配りや字を丁寧に書くことなどに気を付けて書こうという意識をもって、清書している。(清書の分析・各自の様子の観察)
日常化 一般化 (5分)	児童が本時について振り返りやすいように、「作文振り返りプリント」を、見せながらがんばりをほめるようにする。 * できれば、なるべくたくさんの児童の書いたものを紹介したい。 * 次回の書く活動に生かせるように、様々なテーマについて今回の学習の仕方が生かせることを話して終わりにする。	今回の活動を振り返る。	